

研究タイトル：

## 雑談中の語りの終結部における聞き手反応

氏名： 犬飼 亜有美 / INUKAI Ayumi E-mail: a-inukai@sendai-nct.ac.jp  
職名： 助教 学位： 修士(文学)

所属学会・協会： 日本語教育学会, 社会言語科学会

研究分野： 文学, 言語学, 教育学

キーワード： 会話分析, 雑談, 語り, 聞き手反応

技術相談  
提供可能技術： ・日本語を母語としない人との日本語によるコミュニケーションの支援及び分析  
・中等教育段階の日本語学習者に対する教科学習支援



### 研究内容：

#### ①雑談中の語りの終結部における聞き手反応の分析

##### 【背景】

雑談は、相手のことを知り人間関係を構築・維持するために重要な役割を果たすものであり、留学生をはじめとする日本語学習者にとっても、できるようになるべき談話項目の一つであると言える。

##### 【課題】

しかし、雑談は「依頼」「勧誘」「謝罪」といった談話と異なり、特に決まった流れや文型が存在せず、故に体系的な指導方法も確立されていないのが現状である。日本語学習者の中には、日本語を用いて日常生活を送ることは問題なくできても、雑談に対して苦手意識を持っているという人も少なくない。特に、相手の話に対して、学習者が聞き手としてどのように反応しているかという点については、未だ実態が明らかになっていない。

##### 【目的・方法】

雑談中に見られる「経験したことや起こった出来事の語り」のデータを収集し、語りに対して聞き手がどのような反応を示すかについて、日本語母語話者と日本語学習者の言語行動の比較分析を行っている。これにより、学習者にとって習得が困難な聞き手反応を明らかにし、雑談の効果的な指導方法を確立することを目指す。

- 犬飼亜有美(2022)「日本語の雑談における母語話者と学習者の聞き手行動の違い」『言語科学論集』26, pp. 67-78.
- 犬飼亜有美(2024)「語りの聞き手による終結部の判断と語りの協働達成—接触場面の雑談を対象に—」『第35回第二言語習得研究会(JASLA)全国大会予稿集』, pp. 9-10.
- 犬飼亜有美(2025)「聞き手による評価を示す反応が語りの達成に果たす役割」『社会言語科学会第49回大会予稿集』, pp. 207-210.

#### ②留学生に対する工学系学習日本語の自律学習支援

日本語初級段階で来日した留学生が日本語で教科学習を行う際には、日本語の理解と学習内容の理解という二つの側面で困難に直面する。将来的には、留学生が自力でもしくは周りの助けを借りて問題を解決し、自律的に学習できるようになることが望まれる。そこで、日本語の授業において、留学生の日本語の習得段階にあわせ、教科学習で用いられる学習日本語の指導、及び留学生自身が学習内容をどのように理解しているのかを自分の言葉で説明する活動を行い、当該活動の学習内容理解における効果測定を行っている。

### 提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	